

改善計画シート

別添3-2

法人名	社会福祉法人 弘前草右会
事業所名称	明誠保育園
作成年月日	令和 8年 6月 9日

項目	現状	目標(取り組み目標)		計画内容		
		短期	中・長期	管理者が取り組むこと	職員が取り組むこと	全体で取り組むこと
I -3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	事業計画策定の検討時期が明確化されていない。	年間行事予定表に検討時期を明記し、職員に配布する。		事業計画検討時期を明確化し、職員への理解推進を図る。	・評価、見直しを実施する。 ・共通理解する。	・評価、見直しを実施する。 ・共通理解する。
II -1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	遵守すべき法令等について、情報共有と周知にとどまっている。	・法人本部と連携し、施設運営において遵守すべき法令をリスト化する。 ・定期的に確認できる体制を整え、より確実な法令遵守につなげる。		・遵守すべき法令をリスト化する。 ・定期的に確認する体制作りをする。	共通理解する。	共通理解する。
II -2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	「期待する職員像」が服務心得にとどまり、不十分である。		職員のキャリアパスを具体的に構築し、期待される役割や能力像を明確に示す。	具体的な「期待する職員像」や行動指針を明文化する。	共通理解する。	共通理解する。
II -2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	目標水準が明確ではない。		職員階層別の「期待する職員像」を目標設定等の基準とし、園全体で共通の価値観に基づく人材育成を進めていく。	・目標設定等の基準を明文化する。 ・共通の価値観に基づく人材育成を進めていく。	共通理解する。	共通理解する。
II -2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	目指す保育を実現するための「期待する職員像」の明確化が不十分である。		・理念に基づく「期待する職員像」を明文化する。 ・園内共有し、人材育成の共通基盤として活用する。	・理念に基づく「期待する職員像」を明文化する。 ・園内共有し、人材育成の共通基盤として活用する。	共通理解する。	共通理解する。
II -3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	・ホームページ内掲載の法人及び園の財務諸表、事業計画、事業報告、苦情対応状況が不十分である。		ホームページ内にて法人及び園の掲載内容を検討する。	ホームページ内にて法人及び園の掲載内容を検討する。	情報共有。	情報共有。
II -3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	外部の専門家による監査は実施していない。		外部の専門家による監査の実施について検討する	外部の専門家による監査の実施について検討する	情報共有。	情報共有。
III -1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	苦情内容や解決結果の公表が行われていない。		苦情の内容や解決結果の公表について検討する。	苦情の内容や解決結果の公表について検討する。	情報共有。	情報共有。

Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	組織的な仕組みが明確化されていない。	手順や、参加体制を明文化し、評価、見直しのプロセスを検討する。		手順や、参加体制を明文化する。	共通理解する。	共通理解する。
A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1.2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	連絡帳の活用が不十分である。	連絡帳の活用を見直し、工夫する。		・保護者がより安心して園生活ができるよう、様子の共有を大切にする。 ・連絡帳の活用を見直す。	・連絡帳の活用について話し合う。 ・共通理解する。	・連絡帳の活用について話し合う。 ・共通理解する。
A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	マニュアルが通告の流れにとどまっている。		マニュアルを見直し、内容を充実させる。(虐待の種類、虐待を受けている子どもの特徴、虐待リスクのある保護者の特徴、保護者対応を含める)	マニュアルの見直しを行う。	共通理解する。	共通理解する。